

# 貴澄ハルの世間よもやま話

## 貴澄ハルのゴルフエッセイ「インチキする人の話」

まず自己紹介。ゴルフ歴30年以上、腕前はたいしたことないけど、スピードプレイが自慢…のダツファー（へぼゴルファー）です。

さて、今日はインチキする人の話を書きたいと思います。

自他ともに認めるシングルハンデ（ゴルフが滅茶上手い人）の知人がいます。Aさんとしましょう。

Aさん、実際に上手なのですが、たまにズルをするんです。誰も見てないところで打ちやすいところへボールを蹴ったり、かがんで靴紐を直すふりをしてボール位置を直したり…。

ほとんどの場合、みんな自分のプレイに忙しいので、他の人のプレイまで見ていない。よって誰も気づかない。

しかし、偶然目にする場合もあるので、いつの間にかAさんの悪評が立つようになりました。

「Aさんって人の見てないところでズルするんだよ」

そんな噂が立てば、みんなもAさんのプレイに注目するようになって、どんないいスコアで回っても、またコンペで表彰されても「きっと今回もズルしたんだよ」と陰口を叩かれます。

私もAさんとプレイしたことがあります。そのときAさんはパープレイ（一般の人がもっとも目指すべきスコア）で回りました。

ずっと彼のプレイを見ていました。特にズルをしたようにも見えない。しかし見えないところでやっているかも…との疑惑は消えません。そんな人と思われるのは嫌ですね。

さらにはAさん、コンペの打ち上げで表彰されましたが、その際のスピーチで

「昔、関東オープンに出場して準優勝したことがあるんだ。その時の優勝者は中部銀次郎さんだった。もっとも中部さんは俺のことを覚えていないだろうけどね」

中部銀次郎は、日本ゴルフ史上最強のアマチュアゴルファーです。ゴルフマニアなら彼の名を知らない人はいないぐらいです。

そのときコンペに参加している皆が「おお、さすがAさん！」と彼を絶賛しました。しかしダッファーといえどゴルフマニアである私は「さすがにそれはないだろう」と真顔で嘘をつくAさんに呆れたものです。

中部銀次郎は関西の人なので、関東オープンに出場したことはないはずです。のちほど記録をしらべてみました。青木功や尾崎将司などの有名プレイヤーが優勝しています。しかし中部銀次郎の名前はありませんでした。

誰も知らないからと言って、堂々とそんな嘘をつくのですね。

さて「自分の周りには、そんなインチキをしている人がいないように思うけど」と言う人が大半と思います。

その理由①

ゴルフは紳士のスポーツであり、そんなインチキをする人は滅多にいない…基本、性善説。

その理由②

自分のことに精いっぱい人で人のプレイなどいちいち見てない。

私の場合、②が主な理由ですけどね。

ポピュラーなインチキ例を挙げます。

#### ●タマゴを産む人

どんな場所に打ち込んでもボールがなくなることはない。なぜならそのボールは彼のポケットにあった予備ボールだから。誰も見てないところで、そっとポケットから取り出し、あさっての方向を向いてポトッと落とすのだ。

#### ●銭形平次

グリーンに乗ったら誰よりも早くグリーンに赴きマーク（ボール位置を確認する目印）を実際の距離よりもホール近くに放り投げる。あまりにもホールに近過ぎるのは禁物だ。バレル公算が大きい。

#### ●バンカー名人

バンカーに入ったら誰よりも早くバンカーに向かう。そしてボールを拾って誰も来ないうちにショットをする。ここでショットと同時に手に隠し持ったボールを放り投げる。これは熟練の技が必要なので、一連の所作を練習しておいた方がよからう。

インチキでスコアがよくなれば、知らない人からは「上手ですね」と褒められるかもしれませんが、あとで事情を知る人から、本人の知らないところでインチキをばらされ、一生信用をなくすことになります。

それでもインチキする人は気付きません。ある意味、気の毒な人かも。皆さんも気を付けて！